

【科目名】 言語聴覚障害学総論		【担当教員】 倉智雅子
【授業区分】 専門分野(言語聴覚障害学)	【授業コード】 5-27-1060-0-1	(メールアドレス) kurachi@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】 ST1 年・後期	【選択必修】 必修	(オフィスアワー) 授業開講日 研究室にて対応
【単位数】 2 単位	【コマ数】 15 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ST 専攻生対象。		
(受講のルールに関わる情報・予備知識) 講義には教科書を持参する。また、指定されている教科書や参考書を各自読み進める。		
【講義概要】 (目的) 言語聴覚士になるための基礎を学び、言語聴覚士として職務内容や対象患者などの理解を深め、これから履修を進める、専門分野の基礎を身につけることを目的とする。 (方法) 人間がコミュニケーションをとるための聴覚や発声・発語に関する生理学的側面、また記憶や思考といった高次脳機能に関する側面、さらにそれらの機能を傷害することによる様々な言語障害に対する知識を包括的に学ぶ。加えて、上記の障害を実際の臨床場面でどのように対応するかについての方法論も履修する。臨床の対象となる障害のうち、小児と成人の関係についても触れる。		
【一般教育目標(GIO)】 ・言語聴覚療法に必要な、基本的な知識、技能、および態度を身につけることができる。 ・導入教育としての基本的な学習技術(スタディ・スキルズ)が習得できる。応急手当の基本を知り、緊急時に対応できる。		
【行動目標(SBO)】 ・言語聴覚士の仕事について説明できる。 ・言語聴覚療法を対象とする疾患について説明できる。		
【教科書・リザーブドブック】 藤田郁代 監修『標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害学概論』 医学書院,2010 年 ¥5,000 (税別)		
【参考書】 小松崎篤, 岩田 誠, 他『言語聴覚士テキスト』医歯薬出版, 第 2 版, 2011 年. ¥3,000 (税別) 熊倉勇美, 種村純 編集『やさしく学べる 言語聴覚障害入門』 永井書店 ¥5,000 (税別)		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の G P A 制度に従う。本講義に関する選択式試験を実施する。 試験 50%、受講態度 20%、映画鑑賞感想文等(レポート) 30%の割合で総合的に評価を行い、100 点満点で 60 点以上を合格とする。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		50	0	30	0	0	0	20	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	25		15					
	思考・推論・創造の力	25		15					
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢							20	
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)			
1	オリエンテーション、言語聴覚士とは(言語聴覚障害入門)	講義		自分が ST 専攻を目指した背景を語れるよう準備		10			
2	言葉を生み出すメカニズム 発声発語器官の解剖	講義 演習		予習：教科書指定ページ 復習：教科書とノート再確認		20 20			
3	言葉を生み出すメカニズム 一きこえのしくみ、言葉の発達	講義		予習：教科書指定ページ 復習：教科書とノート再確認		20 20			
4	臨床家との対話 (Q&A)	対話		臨床家の先生に尋ねたい 質問を5つ準備する		20			
5	言葉を生み出すメカニズム 発声発語・嚙下のしくみ:呼吸、発声、構音、共鳴、嚙下	講義		予習：教科書指定ページ 復習：教科書とノート再確認		20 20			
6	言葉を生み出すメカニズム 脳の構造と機能、構音と音声記号	講義		予習：教科書指定ページ 復習：教科書とノート再確認		20 20			
7	言語聴覚障害－障害の分類、原因、障害の次元	講義 演習		予習：教科書指定ページ 復習：教科書とノート再確認		15 15			
8	言語聴覚障害の種類と接し方－聴覚障害(オーディオドラマ鑑賞)	オーディオドラマ鑑賞		なし					
9	言語聴覚障害の種類と接し方－構音障害、音声障害、嚙下障害	講義		予習：教科書指定ページ 復習：教科書とノート再確認		20 20			
10	言語聴覚障害の種類と接し方－吃音、器質的構音障害	講義		予習：教科書指定ページ 復習：教科書とノート再確認		20 20			
11	言語聴覚障害の種類と接し方－言語聴覚障害に関する映画／鑑賞	映画鑑賞		なし					
12	言語聴覚障害の種類と接し方－言語聴覚障害に関する映画／鑑賞 続き	映画鑑賞		なし					
13	演習:自分の発声発語を知る	演習		予習：声の特徴		20			

平成 26～28 年度入学者用

			復習：演習ノート再確認	20
1 4	言語聴覚障害の種類と接し方ー高次脳機能障害 (失語症)	講義	予習：教科書指定ページ 復習：教科書とノート再確認	20 20
1 5	言語聴覚障害の種類と接し方ー言語発達障害、機能的構音障害	講義	予習：教科書指定ページ 復習：教科書とノート再確認	20 20

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。